

問題 次の文章は、frailty (フレイル) *に関する調査の報告からの抜粋です。

*frailty という概念は、欧米では「加齢に伴う、ストレスに対する恒常性の回復が低下した脆弱な状態」を示し、「転倒、身体障害、死亡を含む健康障害の危険を高める状態」とされている。従来、「虚弱」や「老衰」という日本語訳が充てられてきたが、2014年に日本老年医学会は frailty を「フレイル」と表すことを提唱した。

これを読んで、以下の問1～問6に答えなさい。

(Agnieszka Batko-Szwaczka, Joanna Dudzińska-Griszek, Beata Hornik, Magdalena Janusz-Jenczeń, Iwona Włodarczyk, Bartosz Wnuk, Joanna Szotysek, Jacek Durmała, Krzysztof Wilczyński, Anna Cogiel, Jan Dulawa, Jan Szewieczek. Frailty Phenotype: Evidence of Both Physical and Mental Health Components in Community-Dwelling Early-Old Adults. Clinical Interventions in Aging. 2020;15: 141-150 より引用した。

問1. 本研究の目的は何か、日本語で述べなさい。

問2. Friedらが提唱したフレイルの診断基準について、(1) 5つの要素と、(2) 「フレイル」の基準、および(3) 「フレイルの前段階」の基準を日本語で述べなさい。

問3. 本研究における、(1) 対象者の選定方法を日本語で述べ、(2) 研究参加の同意が得られて対象者となった人数を数字で示しなさい。

問4. 本研究における握力の測定方法を日本語で述べなさい。

問5. 本研究の結果より全対象者のうち(1) 「フレイル」と判定された者の割合(%)と、(2) 「フレイルの前段階」と判定された者の割合(%)を数字で示しなさい。

問6. 本研究の結果より正しいものはどれか。下の選択肢のうち1つ選びなさい。

1. 対象者は男性より女性の割合が高い
2. 「フレイル」の頻度は女性より男性のほうが高い
3. 身体活動は男性より女性のほうが高い
4. 身体活動の低下には総脂肪量が関連している
5. 意図しない体重減少には抑うつが関連している